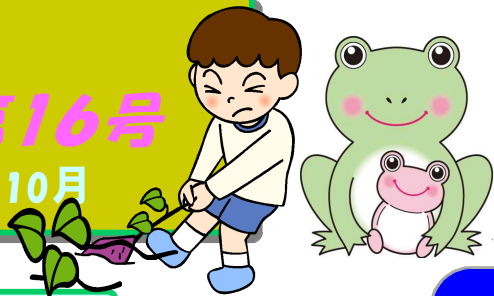


# ケロちゃん通信 第16号

2016年 10月



ながおか医療生協  
**あたごこどもクリニック**

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1  
 電話番号0258-36-5810  
<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

## 10月の診療予定

		月	火	水	木	金	土
あたごこどもクリニック	8:35 ~ 12:00	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川 本 川 間 (7・21日)	吉川
	13:45 ~ 15:30	乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種 (第1・3週) 発達外来 (第2・4週)		乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種	
	15:30 ~ 17:30	吉川	吉川		吉川	吉川 本 川 間 (21日)	

**受付開始：一般診療は午前8時35分、午後15時30分です。**

### ☆一般診療

診療時間内に受診ください。予約は不要です。付き添いのお母さん等が体調不良の時もお気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合は、まずお電話ください。

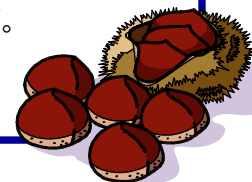
### ☆発達外来 (第2・4火 13:30~15:30)

発達に心配、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくをおこしやすい、ひきつけがある等の発達や神経に関する心配がある方もお気軽にご相談ください。

### ☆アレルギー外来(原則 第1・3金 9:00~12:00)

食物アレルギー、喘息、花粉症などでお困りの方は、ご相談ください。☆予防接種、乳児健診、発達外来受診希望の場合には、電話でご予約お願いいたします。

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。



☆10月よりインフルエンザの予防接種が始まります。予防接種をしたけどインフルエンザにかかった、ワクチンが効かなかったという話をききます。現在のワクチンは感染そのものを防ぐというより、「感染しても軽症で済むように接種する」と考えてください。インフルエンザ感染の重症化を防ぐ一番有効な方法はワクチン接種です。ワクチンの効果は3-4ヶ月です。早くしたほうがいいのか遅くした方がよいのかは、個々の事情でご検討下さい。

☆「予防接種は車のシートベルト」というたとえがあります。車に乗っていてシートベルトをしていても事故そのものを予防できませんが、事故をおこしても大けがを防ぐことはできます。予防接種も同じです。

☆「今日の一針、明日の百針」ということわざもあります。1回注射すれば後になってつらい思いや、採血・点滴などをしなくても済むという意味で使われています。

自己紹介 : 佐藤恵子さん(看護) 8月入職


- ①趣味・好きなこと：料理を作ることが好きで、得意な料理はグラタンです。
- ②皆様に一言：小6の子どもがいます。いつも元気ですが、体調を崩すと食欲もなくなり、ぐったり・・・家族は心配で早く「元気」になって欲しいと思います。その『元気』を取り戻すためのお手伝いできればと思っています。「元気」になるためには協力してがんばってもらうこともありますが、少しでも病院が怖くない場所で「元気」になるための場所であると思ってもらえるよう努力していきたいです。よろしくお願ひいたします。


**10月の休診予定 : ありません。**


**10月15日(土)午後:インフルエンザワクチン外来(予約のみ)**

# 赤ちゃんの便の色、尿の色


## ☆便の色


 黄色：生後2-3ヶ月の赤ちゃんの便の色は黄色です。胆汁の色素成分であるビリルビン（黄色）が腸内細菌叢が未熟なために、ウロビリノーゲン（無色）への還元を受けることがほとんどなく、そのまま便の中に含まれるためです。

 緑色：赤ちゃんの便は時々、緑色をおびることがあります（特にしばらく空気中に放置しておい場合）。これはビリルビン（黄色）が酸化され、ビリベルジン（暗緑色）に変化したためです。抗生剤を使用した場合にも緑色になることがあります。これも腸内細菌叢が抑制されるためです。また、ビリルビンの酸化は、便が酸性の時に起きやすいようです。緑色便は、新生児、抗生剤内服時、人工栄養児などにみられやすいですが、母乳栄養児でもみられます。母乳では黄色89%、緑色便8%、ミルクでは黄色25%、緑色便73%という報告があります。病的なものであることは少ないようです。

 黄褐色：離乳開始後に便の色が変わります。その時の便にはビリルビン（黄色）はほとんど含まれません。腸内細菌叢が発達し、それらによりビリルビン（黄色）が還元され無色のウロビリノーゲンとなり、その後自家酸化でウロビリリンとなるためです。

**赤い、白い、黒い便のときは、すぐに病院を受診してください。**

 赤色：血液が混じっているときは細菌性腸炎、ジャムのような血便は腸重積症、便秘による肛門からの出血などが考えられます。しかし、2ヵ月くらいの元気な母乳栄養児で、便に極わずかの出血が見られる場合は、乳児良性直腸出血の可能性が高いので、心配ない事もあります。

 白色：先天性胆道閉鎖症や肝炎が疑われます。下痢を伴っている場合はロタウィルスなどの感染性胃腸炎が疑われます。

 黒色：胃や十二指腸で出血している可能性があります。

## ☆尿、おむつの色

赤ちゃんは代謝が活発で大量の尿酸が排泄されます。不溶性の尿酸塩はピンクの色合いです。夏場になると、尿が濃くなり尿酸が析出すると、おむつがピンク色になることがありますが、正常所見で心配ありません。

アスピリン、セフゾンなどの薬お飲んでいると、尿が赤くなりおむつに色が付いていることがあります。心配ありません。

血尿でおむつが赤くなる、血便でおむつが赤くなる、おりもので黄～茶色になる場合もありますので、そういう時にはご相談ください。

